

地区別計画 中央市街地地区

(1) 中央市街地地区の概要

地区のあらまし

中央市街地地区は、町域のほぼ中央に位置し、町役場をはじめ多くの公共施設が集中する地区です。また、道北の玄関口である旭川空港が立地しています。

中心市街地であるとともに、住宅開発が進められるとともに、地区郊外では昭和51年から大規模な工業団地が造成され、20数社の企業が操業しています。

主な公共・公益的施設

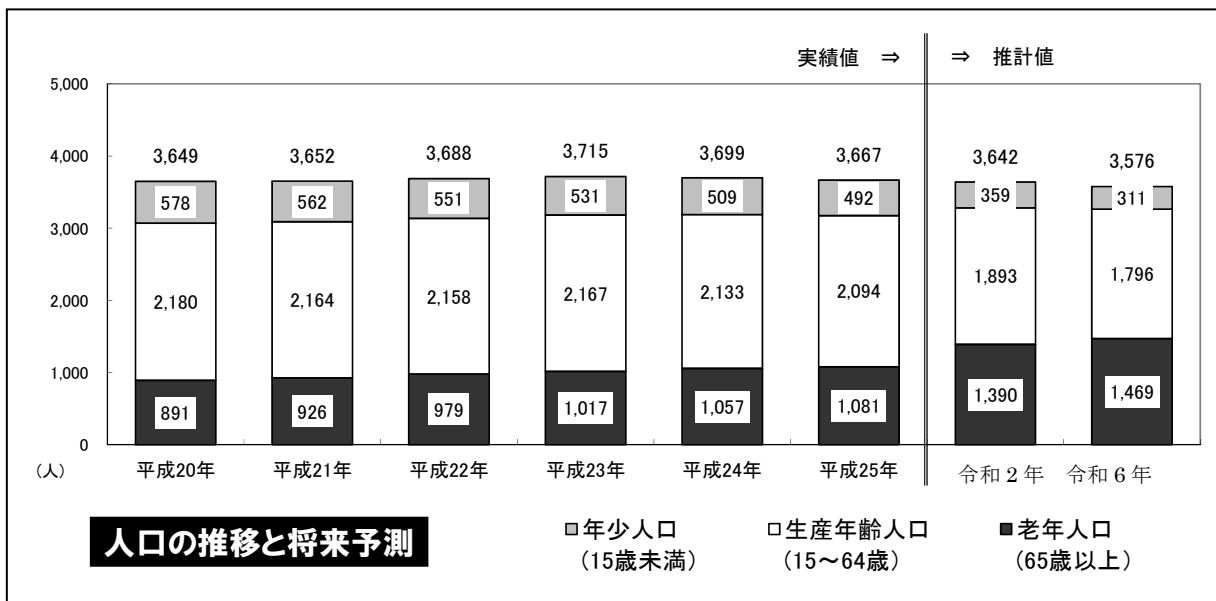
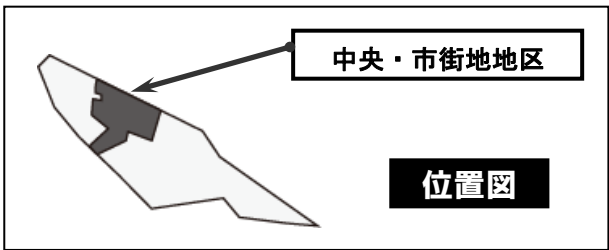
- ◇東神楽町役場
- ◇公民館
 - ・中央地区公民館
- ◇教育・文化・福祉施設
 - ・東神楽町立幼稚園／中央保育園／東神楽小学校／東神楽中学校／メモリアルホール（図書館）／交流プラザつつじ館（郷土資料館併設）／総合体育館・地域世代交流センター／総合福祉会館
- ◇その他
 - ・農村環境改善センター
- ◇主な公園・緑地
 - ・義経公園

道路・公共交通

- ◇主な道路
 - ・道道東川東神楽旭川線／道道鷹栖東神楽線／道道旭川空港線
- ◇路線バス
 - ・東川・東神楽循環線
- ◇町営バス
 - ・聖台線／稲荷・八千代線／忠栄・志比内線
- ◇空港
 - ・旭川空港

河川

- ・忠別川／ポン川／稲荷川／八千代川



(2) 中央市街地地区の魅力

中央市街地地区の代表的な魅力は以下のとおりです。

1. 地域と連携した子育て・教育が展開されている地区

教育・文化施設があるとともに、G T Aなどの地域住民と連携した教育活動が展開されている地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

幼稚園、保育園の交流がよい／小中学生の礼儀が正しい／G T A活動が有名である／子どもを育てる環境がよい／児童クラブの部屋が広い、環境がよい／町が少年団活動に協力的 等

※G T A：G(グランドファザー・マザー) T(ティーチャー) A(アソシエーション)。東神楽小学校において地域の高齢者と学校教職員でつくる組織。

2. 地域活動の活発な地区

公民館事業やイベントの参加や協調に向けた住民意識がある地域活動の活発な地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

特徴のある公民館活動を行っている／ゆるかつ、祭りを語る会がすごい／協調した住民意識／市街地はあいさつがとてもよい／季節に応じた取り組みがある／地域(行政区)の結びつきが強い／農家のチャレンジ精神が高い 等

3. 旭川空港が立地する地区

道北の玄関口である旭川空港が立地し、国内外とのアクセスのよい地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

東京に近い／空港が町内にあるのが便利／写真撮影スポットがある／欠航が少ない 等

4. 花のある街なみと田園風景の調和した地区

花のある街なみと田園風景が調和した美しい地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

自然環境が素晴らしい／高台は大雪山連峰絶景／田園風景／オープンガーデンがある／牧場の景観がのどか／街なみがきれい／市街地と農村地域が共有したまち／町の中の花がきれい／花Tomooができた事素晴らしい／中央交差点に花壇、きれいなプランターがある／メモリアルホールの花壇がきれい／マリーゴールドの定植がきれい／桜の名所（義経公園） 等

5. 公共施設が充実した地区

町役場をはじめ、教育・文化・スポーツ施設、保健・医療・福祉施設などが立地する地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

公共施設が充実し、利用しやすい／役場が近い／学校が近い 等

(3) 中央市街地地区の課題

中央市街地地区の主な課題は以下のとおりです。

1. 充実した子育て環境づくり

地域と連携した教育活動、数多くの福祉・教育施設の立地する条件を生かし、さらに充実した子育て環境づくりを進める必要があります。

みんなで話した地区の課題

子ども達の遊び場が少ない／指導者の発掘 等

2. 花のまち復活への取り組み

花のまちとしての取り組みを一層進める必要があります。

みんなで話した地区の課題

花のまちと言うわりには花が少ない／道々斜面のワイルドフラワーの手入れが悪い／花の町に対する町民の意識がうすい／花の町らしい人を呼べるガーデンがない／サカタのタネをもっと有効利用すべき／花のまちのキャッチフレーズを公募／花壇の花の再利用 等

3. 立地を生かした産業の振興

体験農業、地域での商業活動をはじめ、空港を利用する来訪者へPR、特産品の開発など立地を生かした産業の振興が課題となっています。

みんなで話した地区の課題

グリーンツーリズムの取り組み。農家民宿がほしい／新規就農の取り組みが足りない／地元農産品の販売施設が少ない／飲食店が少ない／買い物するお店が少ない／特産品がない／飛行機待ちの観光客へもっとアピールを／外国人観光客への案内看板がない／物産館が活用されていない／通りすがりのまち 等

※グリーンツーリズム：主に都市住居者が農山村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。

4. 生活しやすい環境づくり

公共交通の利便性向上をはじめ、利用しやすい公共施設、道路環境、医療体制など生活環境の一層の向上が課題になっています。

みんなで話した地区の課題

バスの便が少ない／公的なスポーツ場がない／小さな子どもが遊べる遊具を増やして欲しい／民家前の路上駐車が多い／ゆっくり話せる場所がほしい／街灯が暗い場所がある／病院が時間外対応できない／病院が少ない 等

5. 地域活動の更なる活性化

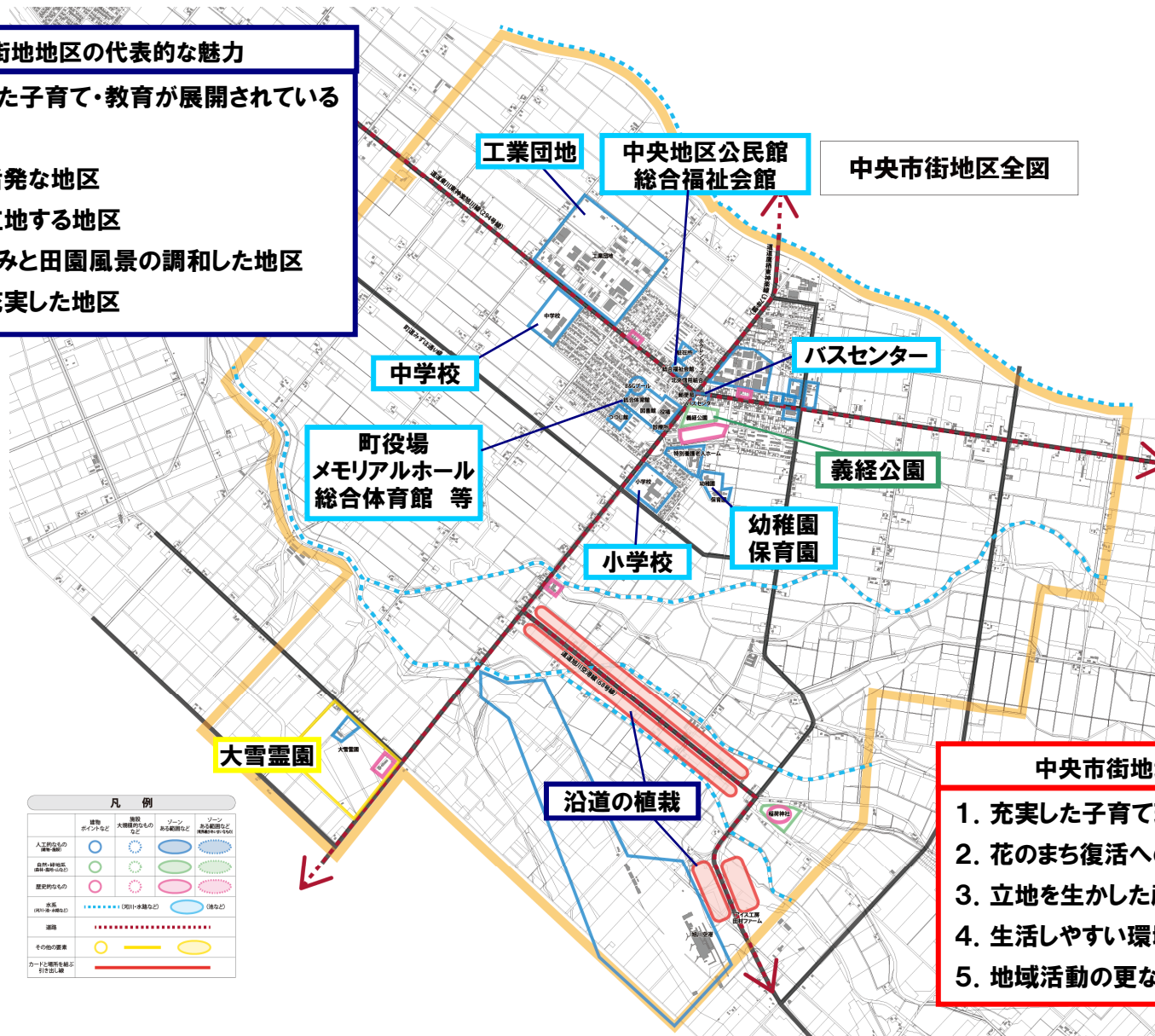
地域で展開されている様々な活動の活性化を一層図る必要があります。

みんなで話した地区の課題

町内会行事への参加が少ない／朝の清掃に出てくる人が少ない／だれかがやってくれる意識を変える／閉鎖性を感じる 等

中央市街地地区の代表的な魅力

1. 地域と連携した子育て・教育が展開されている地区
2. 地域活動の活発な地区
3. 旭川空港が立地する地区
4. 花のある街なみと田園風景の調和した地区
5. 公共施設が充実した地区



中央市街地地区の主な課題

1. 充実した子育て環境づくり
2. 花のまち復活への取り組み
3. 立地を生かした産業の振興
4. 生活しやすい環境づくり
5. 地域活動の更なる活性化

(4) 中央市街地地区の目標

中央市街地地区の目標と目標実現に向けた取り組みは以下のとおりです。**【重点】**とある項目は重点的・優先的に取り組む項目です。

■目標1 子どもを育てやすい地区をつくる

目標実現のための取り組み		
取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1) 地域と連携した子育て環境づくり	①子育て支援に関するボランティアや指導者 を増やします。 が参加しやすい環境を整えます。	協働
	②子育て・教育に関わる施設の有効活用を図ります。	協働
	③子どもへの地域での声掛け・見守り活動に取り組めます。	住民
	④産前・産後を通じた子育て支援の充実を図ります。 【重点】	協働
(2) 子どもの遊び場の確保	①多様な年齢が利用できる施設・遊具の整備 を図ります。 の維持・改善を図ります。	行政
	②公園での 幼児用遊具の整備と既存遊具の有効活用を図ります。	行政

■目標2 花のある美しい地区をつくる

目標実現のための取り組み		
取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1) 花を利活用した景観づくり	①桜の名所（義経公園・道道）の維持増進に取り組めます。	協働
	②各所の花壇の手入れに取り組めます。	協働
	③道道沿いに見せる花壇をつくれます。	協働
	④ 花のまち復活へ取り組めます。 （ 花のまちづくり／花いっぱい運動 ） 花のまちづくり、花いっぱい運動に取り組む、美しい環境づくりに努めます。 【重点】	協働

■目標3 立地を生かした活力ある地区をつくる

目標実現のための取り組み

取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1) 地域産業の振興	①農家体験や農家民宿などに取り組みます。	協働
	③地域の農産物を生かした特産品やご当地メニューを開発します。【重点】	住民
	④東神楽産のものを外に発信できるような場をつくります。【重点】	協働
(2) 情報発信・PRの強化	①空港利用者へのPRに取り組みます。	協働
	②地域の特産品や農産物の情報発信を強化します。	協働
	③北国らしい美しい景観で、国内外からの観光客にアピールします。	協働

■目標4 生活しやすい地区をつくる

目標実現のための取り組み

取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1) 安全安心な生活環境の改善	①地域の防犯対策に取り組みます。(防犯灯の設置)	協働
	②交流ができる場所(まちあいカフェ)の充実を図ります。【重点】	協働
	③公共交通機関の利便性向上を図ります。の周知について取り組みます。	協働
	④複合施設の整備に合わせて、交流機能・診療機能の充実を図ります。【重点】 複合施設の整備に伴い生じた、空き物件・空き地の活用について取り組みます。	協働
	⑤地域での見守り、支えていくための意識の醸成を図ります。	協働

■目標5 地域活動が盛んな地区をつくる

目標実現のための取り組み		
取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1) 地域活動の活性化	①あいさつ運動に取り組みます。	住民 協働
	②地域行事への参加の促進、および伝統行事を守り育てます。	住民 協働
	③地区団体の横の連携強化に取り組みます。	協働
	④地区の行事への公民館の係わりを強化します。	住民

資料

(1) 策定経緯

平成 25 年	
12 月 16 日	<p>■第 1 回地区別まちづくり会議 時間：18:30～21:05 場所：総合福祉会館 参加者：19 名（職員 9 名、委員 10 名）</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報地区の作成 ・地区の魅力と課題の検討
平成 26 年	
1 月 30 日	<p>■第 2 回地区別まちづくり会議 時間：18:30～21:30 場所：総合福祉会館 参加者：16 名（職員 8 名、委員 8 名）</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力と課題の整理
2 月 26 日	<p>■第 3 回地区別まちづくり会議 時間：18:30～21:00 場所：総合福祉会館 参加者：17 名（職員 9 名、委員 8 名）</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標、取り組み内容の検討
3 月 17 日	<p>■第 4 回地区別まちづくり会議 時間：18:30～21:00 場所：総合福祉会館 参加者：18 名（職員 9 名、委員 9 名）</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標、取り組み内容の検討 ・役割分担の検討 ・地区計画全体の報告

(2) 更新経緯

平成 30 年	
1 月 29 日	<p>■第 1 回地区別まちづくり会議 時間：18:30～21:00 場所：総合福祉会館 参加者：29 名（職員 18 名、委員 11 名）</p> <p>■内容 ・現状の課題確認、進捗状況の確認、目標・取組内容・役割分担の検討</p>
2 月 14 日	<p>■第 2 回地区別まちづくり会議 時間：18:30～21:00 場所：総合福祉会館 参加者：29 名（職員 18 名、委員 11 名）</p> <p>■内容 ・進捗状況の確認、目標・取組内容・役割分担の検討</p>
3 月 12 日	<p>■第 3 回地区別まちづくり会議 時間：18:30～20:40 場所：総合福祉会館 参加者：23 名（職員 13 名、委員 10 名）</p> <p>■内容 ・計画の修正事項の確認 ・重点項目の検討・確認</p>
令和 3 年	
12 月 20 日	<p>■第 1 回地区別まちづくり会議 時間：18:30～20:30 場所：総合福祉会館 参加者：22 名（職員 10 名、委員 12 名）</p> <p>■内容 ・現状の課題確認、進捗状況の確認</p>
1 月 19 日	<p>■第 2 回地区別まちづくり会議 時間：18:30～20:30 場所：総合福祉会館 参加者：21 名（職員 10 名、委員 11 名）</p> <p>■内容 ・目標・取組内容・役割分担の検討</p>

(3) 地区別まちづくりに向けた意見・提言

よりよい地区づくりを進めるため、地区別まちづくり計画で定めた目標の実現に向け、目標ごとの取り組み方針に基づき、今後、具体的な取り組みを検討・実行していく必要があります。

こうした目標や取り組み方針、取り組みのあり方を定めるための検討を進める中で、具体的な取り組みを実行する上で重要な意見・提言が出されています。そうした意見・提言をまとめると以下のとおりとなります。

○計画策定時

1. 取り組み方針・取り組み内容に関する意見・提言

■目標 1

(1) 地域と連携した子育て環境づくり

①子育て支援に関するボランティアや指導者を増やします

- ・学校同士、学校と公民館との連携
- ・幼稚園から中学校まで、一連の流れでの指導

2. 取り組みのあり方・協働に向けた意見・提言

■目標 1 子どもを育てやすい地区をつくる

(1) 地域と連携した子育て環境づくり

①子育て支援に関するボランティアや指導者を増やします

- 行政は情報発信し、住民は協力する。
- 行政だけで行うのではなく、みんなで子育てを支援してはどうか。
- 少年団の指導者が役場職員のみ、住民も見守ってくれたらいいと思う。
- 行政はボランティアセンターで登録を行い、住民と連携しては。

②子育て・教育に関わる施設の有効活用を図ります。

- 行政は施設整備を行い、住民は中に関わるソフト面を担う。

(2) 子どもの遊び場の確保

①多様な年齢が利用できる施設・遊具の整備を図ります。

- 管理者に任せるだけでなく、住民も管理に協力する。

■目標 2 花のある美しい地区をつくる

(1) 花を利活用した景観づくり

①桜の名所（義経公園・道道）の維持増進に取り組みます。

- 行政は公共用地（道道）の植栽と維持管理を行い、清掃などの維持管理は協働で行う。

②各所の花壇の手入れに取り組みます。

- 行政は取りまとめて、住民は参加する。

③道道沿いに見せる花壇を作ります。

- 見せる花壇は協働で行う。

①花のまち復活へ取り組みます。（花のまちづくり／花いっぱい運動）

- みんなで取り組む。

2. 取り組みのあり方・協働に向けた意見・提言

■目標3 立地を生かした活力ある地区をつくる

(1) 地域産業の振興

① 農家体験や農家民宿などに取り組みます。

→行政は修学旅行の受け入れなどの窓口となり、住民は受け入れる。

② 地元産の農産物の直売所を増やします。

→行政は直売所の場所の用地確保に関わり、住民は運営する。また、個人から行政まで、幅広く発信の場をつくる。

③ 地域の農産物を生かした特産品やご当地メニューを開発します。

→町全体でPRする。

④ 東神楽産のものを外に発信できるような場をつくります。

→みんなで発信する。

(2) 情報発信・PRの強化

① 空港利用者へのPRに取り組みます。

→住民はアイデアを出し、行政は運営する。

→パンフレットやリーフレットなど、個人だけでなく行政主導で行う。

② 地域の特産品や農産物の情報発信を強化します。

→みんなで考える。

③ 北国らしい美しい景観で、国内外からの観光客にアピールします。

→田園風景がよいので農家の方と一緒にアピールできれば。

→住民は動画サイトを利用するなどして発信する。

■目標4 生活しやすい地区をつくる

(1) 安全安心な生活環境の改善

① 地域の防犯対策に取り組みます。

→行政は街灯などの設置を行い、住民は維持や見守り等を行う。

※かつら町の中学生通学路や義経公園の周りで暗い場所がある

→住民は防犯に関する情報収集を行う。

② 交流ができる場所をつくります。(まちあいカフェ)

→行政は体制を整え、地域で交流に取り組む。

■目標5 地域活動が盛んな地区をつくる

(1) 地域活動の活性化

① あいさつ運動に取り組みます。

→高齢者世代等(障がい者含む)への配慮、声掛けをしてはどうか。

② 地域行事への参加の促進、および伝統行事を守り育てます。

→行政は予算を支援し、住民は参加する。

③ 地区団体の横の連携強化に取り組みます。

→団体ごとのリーダー会議(運営は住民が行い、行政が組織化をする)を開催する。

→連携強化の橋渡し役を行政が行う。

1. 取り組み方針・取り組み内容に関する意見・提言

■目標1 子どもを育てやすい地区をつくる

(1) 地域と連携した子育て環境づくり

① 子育て支援に関するボランティアや指導者を増やします

・子育て支援等の活動が評価され、道主催の『ほっかいどう未来輝く子育て大賞』を受賞した団体がある。

・指導者として求められるレベルがわからないため、手を挙げるができない。

・周知方法の工夫が必要である。(指導者確保、子育て養成事業、ボランティアに関する情報)

・団体の活動状況がわからないためボランティアにに参加しにくい。高齢者のボランティアがいない。

・各スポーツ少年団の指導者発掘を積極的に行うべき。地区に縛られず、町内全域に広く周知し、登録制とするなど、多くの人材確保が必要である。

② 子育て・教育に関わる施設の有効活用を図ります。

・土日に通常利用できる子育て施設があると良い。託児がないと利用しづらい。

・新町団地では集会所の構想があるが、閉鎖的なものではなく、多くの町民の方が利用できるものにして欲しい。可能であればサロン機能を持たせることができると良い。

③ 子どもへの地域での声掛け・見守り活動に取り組めます。

・昨今のご時世で不審者と勘違いされる可能性もあるので声掛けは中々難しい。

・地域を見守る人が少ない。ひじり野はタスキをかけたお年寄りが道に立っている。他地区のいいところは真似て、お年寄りやグループに声をかけ団体を作るなどしたほうが良い。

(2) 子どもの遊び場の確保

① 多様な年齢が利用できる施設・遊具の整備を図ります。

・義経公園の遊具が新しくなったが、中央地区は子供の遊ぶ場所が少ない。

② 公園での幼児用遊具の整備と既存遊具の有効活用を図ります。

・もっと斬新な遊具を設け、人とメディアを呼ぶと良い。

・既存遊具は危険で無ければ更新する必要はない。子ども達自らが考え遊ぶことを妨げてしまうのではないか。

■目標2 花のある美しい地区をつくる

(1) 花を利活用した景観づくり

① 桜の名所(義経公園・道道)の維持増進に取り組めます。

・桜はもっとあったほうが良い。保全維持とともに植樹を進めるべき。(桜の木ロードを作ってもらいたい。)

・義経公園が桜の名所というのが知られてはいない。(アピールが足りない)

② 各所の花壇の手入れに取り組めます。

・東神楽小学校も東聖小学校のように、1人1鉢運動を行ってはどうか。小中学校全体で花育を推進すべき。

・地区ごとに花壇があつたり、なかつたりしている。花壇があつても花を植えていない地区もある。花壇の前の住民が個人的に植えている箇所もあり、統一性がない。興味のない人の周囲は手入れせず、意識の高い人の周囲はきれいになっている。

③ 道道沿いに見せる花壇を作ります。

・ひじり野と市街地の花が異なっているため、統一感を持たせると良い。

・車の運転時に街路樹(つつじ)が死角になり、視認性が悪い場所がある。

④ 花のまち復活へ取り組めます。(花のまちづくり/花いっぱい運動)

・花の駅の場所は、案内看板が少なくわかりにくい。町外の人でも利用しやすい施設にすると良い。

・花の駅の魅力づくりに物産館の持つ機能(展示室及び食品加工施設)を活用してはどうか。

- ・花の駅が自然消滅しないように、PRや魅力アップの推進、花の駅整備計画の策定をすべき。
- ・空の駅・高規格道路整備を見据えた展開が大事。空の駅に花の駅の機能を持たせるべき。(道の駅のイメージともいえる)
- ・景観向上に関する意識が少ない人が多い。
- ・下に咲く花ばかりではなく桜以外で木に咲く花はどうか。
⇒それを特産品としてはどうか(国の助成金等の活用)
- ・滝上の芝桜、上湧別のチューリップ、遠軽のコスモス等、見せる花があると良い。
- ・花の町としてのアピールが足りない。もっと力を入れるべき。

■目標3 立地を生かした活力ある地区をつくる

(1) 地域産業の振興

① 農家体験や農家民宿などに取り組みます。

- ・民宿は許可が必要なため取り組みはできていない。(農家の協力が必要)

② 地元産の農産物の直売所を増やします。

- ・直売所の情報が不足している。役場のHP等に農家さんの直売情報のリンクを貼って販売情報が検索できるようにすると良い。
- ・自分の家の野菜をすぐ出せるような(軽トラ等を置ける)場所があると良い。

③ 地域の農産物を生かした特産品やご当地メニューを開発します。

- ・新たにハルマーケット、産直研究会ができ、直売所が増えた。
- ・「種と実セレクト」プロジェクトによる特産品づくりが始まった。プロジェクトのロゴも良いデザインだと思う。(もう少し周知が必要)
- ・子育て支援団体が企業の協力を得て特産品の開発を行っている。
- ・観光の振興に欠かせない、女子が好むスイーツ開発ができていない。特産化に向け、スイーツに特化したコンテストが必要ではないか。
- ・季節にかかわらず、通年作れるような特産品がない。野菜の採れている時期はいいが、それ以外の時期は何もない。

- ・学校給食に地元野菜をもっと取り入れるべき。

④ 東神楽産のものを外に発信できるような場をつくります。

- ・町外のスーパーで、東神楽産の野菜を見かける機会が増えてきたことは嬉しい。
- ・空き店舗の活用ができていない。ふるさと納税サイト以外に、利用できる情報発信もない。(町民はふるさと納税をしても、返礼品はもらえないためメリットがない)
- ・アイデアに対してお金を払うのではなくて、商品開発を実現することに助成してほしい

(2) 情報発信・PRの強化

① 空港利用客へのPRに取り組みます。

- ・旭川空港内で町内産アスパラを振舞うイベント「ウェルカムアスパラ」を実施し、好評を得た。
- ・まだPRが足りず、通りすがりの町となっている。空港民営化に合わせてアピールをして東神楽町を知ってもらったほうがよい。
- ・空港内に町のPRするブースなどが無い。おいしいそばなどの店があるのにPRできていない。

② 地域の特産品や農産物の情報発信を強化します。

- ・花のまちにふさわしい大規模な花畑(シンボルパーク的なもの)をつくり、特産品を売る場所としても活用すると良い。
- ・東神楽町の特産品の印象が薄い。⇒JAの特産品が濃い印象。

- ・なたね油をもっとアピールしたほうがよい。

- ・パンフレット等の情報をもらう場所がバラバラでわかりづらい。

③ 北国らしい美しい景観で、国内外からの観光客にアピールします。

- ・北海道開発局で「わが村は美しくー北海道」運動というのをやっていてエントリーをしたらよいのではないか。

■目標4 生活しやすい地区をつくる

(1)安全安心な生活環境の改善

①地域の防犯対策に取り組みます。

- ・地域コミュニティはしっかりしているといったイメージがあるが、地域の防犯対策に力を入れたり、あいさつ運動に取り組まなければいけない状態なのか？
- ・ひじり野地区で行っているようなパトロール隊が市街地にもあると良い。
- ・不審者が警察に捕まることがあるが、再犯防止の一環として、どこのどんな人物なのか、情報を伝達すべき。またLEDの防犯灯をもっと増やしてほしい。
- ・道路にごみを捨てたままにしない、剥がれた掲示物をそのままにしないなど、町内に不審者が入りにくい環境づくりをすることも大切。
- ・小中学校のPTAでは、年々役員を受けてくれる人も少なくなり、やる人が限られてしまっている。例えば、1年に1回、365日の1日だけ選んでもらい、役員以外の方にも‘あいさつ’や‘見守り’に協力してもらったら良いのではないか。

②交流ができる場所をつくります。(まちあいカフェ)

- ・ホクレンのカフェスペースにふれあいサロンができた。(高齢者向けとして始まった)公民館サロンも年数回実施された。
- ・物産館を利用したらよい。

③公共交通機関の利便性向上を図ります。

- ・バスの便は増えているが、朝のバスは込み合っている(不足している)。
- ・通学時間帯だけでも、ひじり野・市街地間を町バスの運行があると良い。(特に高校生は町外への通学に大変苦労している)
- ・遠慮せず利用が伸びるよう、小さめの車を使用しオンデマンドカーを走らせてはどうか。
- ・どこでどれくらいの人がバスに乗りたいのか、適切に利用ニーズを把握できていない。

④医療サービスの充実を図ります。

- ・花時計内に訪問看護ステーションができ、市街地にも訪問対応してくれる。町立診療所とは別の医師が特養アゼリアハイツを訪問し、看取り介護が可能となった。医療サービスは現状で十分だと思う。
- ・町施設でもワクチン接種できると良い。

■目標5 地域活動が盛んな地区をつくる

(1)地域活動の活性化

①あいさつ運動に取り組みます。

- ・青年～中年同士だと挨拶しづらい。小学生は、知らない人に対して警戒するよう学校から指導を受けており、あいさつ運動の推進とかみ合っていない。

②地域行事への参加の促進、および伝統行事を守り育てます。

- ・地区行事(ふるさと運動会・盆踊り等)に対する住民の関心・協力は高い。
- ・ハロウィン、サンタウォークなどの開催。冬季行事が増えてきた昔あそび広場は、長年続いていて良い。
- ・戸建の住宅地は高齢化、公住の多い地域は若年化により町内会役員等のなり手が減り、行事への参加・協力を支障が出てきている。

③地区団体の横の連携強化に取り組みます。

- ・公民館活動は他町から見ると活発に行われている。(フェイスブックでみかけることも多い)
- ・まちづくりカフェ実行委員会を立ち上げて取り纏めをしたら良いのではないか。
- ・協働という取り組みのあり方をとっているのであれば団体の立ち上げから町が関わってもよいのではないか、そうすることで活発にまた、横の連携もとれるのではないか。

※他にもたくさんの貴重なご意見をいただきましたが、一部割愛させていただきます。

1. 取り組み方針・取り組み内容に関する意見・提言

■目標1 子どもを育てやすい地区をつくる

(1) 地域と連携した子育て環境づくり

① 子育て支援に関するボランティアや指導者を増やします

- ・ボランティアは増えてきていると感じる。
- ・ボランティア一覧があると良い。
- ・申込みを気軽にできるシステム（ネット）
- ・ホームページにボランティア一覧を掲載して、参加がすぐできる、自分に合ったボランティアが分かるような仕組み（を作るといいのではないか）
- ・取り組み内容を「①子育て支援に関するボランティアや指導者が参加しやすい環境を整えます」に修正する。

② 子育て・教育に関わる施設の有効活用を図ります

- ・共働きの多いので保育園を充実させて欲しい。
- ・施設の有効活用をするためにホームページを見やすくする必要がある。

④ 【重点】産前・産後を通じた子育て支援の充実を図ります

- ・手厚いと思うが【重点】はそのまま。
- ・健診が定期的であり、子供の注意すべきことが気づける。専門家につないでもらえる。
- ・産前で集まる機会が欲しい。（なかなか機会が少ない。相談や情報交換）
- ・使えるサービスを動画にしたらよいのではないか。
- ・周知・アピールを分かりやすく（特にホームページ）

(2) 子どもの遊び場の確保

① 多様な年齢が利用できる施設・遊具の整備を図ります

- ・取り組み内容を「①多様な年齢が利用できる施設・遊具の整備の維持・改善を図ります」に変更する。

② 公園での幼児用遊具の整備と既存遊具の有効活用を図ります

- ・日陰が欲しい。
- ・トイレ・水飲み場が欲しい（防犯対策が必要）。トイレや・水飲み場は防災にも使える。
- ・（2）①に含まれるので「削除」する。点検はして、安全管理はする。

■目標2 花のある美しい地区をつくる

(1) 花を活用した景観づくり

① 桜の名所（義経公園・道道）の維持増進に取り組みます

- ・行政で桜の植樹を進めたり、住民側でも桜周辺的环境整備に努めて、町がきれいに維持されることが重要だと思うので、目標は継続。

② 各所の花壇の手入れに取り組みます

- ・行政として花苗の現物支給をしたり、住民としても町内会で各々花壇の手入れに取り組んでいるが、きれいに維持するため、目標は継続。

③ 道道沿いに見せる花壇を作ります

- ・行政としてプランターを設置、住民も自分の家の植樹マスの手入れを行っているが、中学校の前など維持・管理が行き届いていない場所があるので、目標は継続。

④ 花のまち復活へ取り組みます。（花のまちづくり／花いっぱい運動）

- ・「復活」は表現が曖昧で、基準がよくわからないので削除した方がよいと思う。
- ・「復活」の文字を削除し、「花のまちづくり、花いっぱい運動」に取り組み、美しい環境づくりに努めます」に変更。「重点」目標とする。
- ・花壇のない行政区への設置は、行政で検討して欲しい。

■目標3 立地を生かした活力ある地区をつくる

(1) 地域産業の振興

① 農家体験や農家民宿などに取り組みます

- ・ 農業体験をもっと活かした活動を。
- ・ 民泊などももっと積極的に推進したらよいのではないか。許可を取るなど、まずは体制を整えることが必要ではないか。
- ・ 修学旅行の農業体験の受け入れもしてはどうか。

② 地元産の農産物の直売所を増やします

- ・ 「④東神楽産のものを外に発信できるような場をつくります。」に統合
- ・ 直売所はよく頑張っているの、あとはPRを強化する。

③ 地域の農産物を生かした特産品やご当地メニューを開発します

- ・ 頑張っているが、結果が伴っていない？
- ・ 商品は多数できているが、売り上げにつながっていない。
- ・ 「種と実」も頑張ってコラボなどしているが続かない。
- ・ 「種と実」、もっと連鎖させて大きく広げたい。いろいろな店とコラボするなど。

④ 東神楽産のものを外に発信できるような場をつくります

- ・ 【重点】にする。
- ・ 郵便局の跡地で何かできないだろうか。
- ・ 使えるものは使っていくとよい。

(2) 情報発信・PRの強化

① 空港利用客へのPRに取り組みます

- ・ PR、旭川空港でもう少し自由に活動させて欲しい。
- ・ 空港近くのアksesも大事。(天候悪化等) 空港利用客及び空港職員のための安い宿泊施設(もあつた方がよい、ということでしょうか)
- ・ 雪アスパラを出しているが、他の野菜も置きたい。
- ・ 旭川市の影響が強く、空港の活用は難しい。
- ・ 空港周辺に安く泊まれる場所があるといい。

② 地域の特産品や農産物の情報発信を強化します

- ・ 「種と実」をもっといろいろな所でPRした方がいい

③ 北国らしい美しい景観で、国内外からの観光客にアピールします。

- ・ 高台の景色がとてもいい。観光拠点にならないか？みんなに知ってもらいたい。SNSを活用したらよいのではないか。インスタ・フェイスブックなどに写真をあげる。
- ・ 町民がインフルエンサーとなってSNSに写真等をアップできるようになると良いのでは。

■目標4 生活しやすい地区をつくる

(1) 安全安心な生活環境の改善

① 地域の防犯対策に取り組みます

- ・ 防犯カメラの設置について、町内会でアンケートをとったところ、賛成が90%以上あつたが、費用の面もあり保留した。(防犯カメラ用の半導体が手に入らない状況なので、すぐに設置できない。)
- ・ 地域として防犯対策のグループを作り、パトロールする。
- ・ 地域によっては街灯が少ない所がある。
- ・ 高台など街灯が少ない場所では、吹雪の時など見えにくくて、事故が起きやすい。
- ・ (行政より) 町内会から相談・要望があれば、設置することも可能。
- ・ 元々あつた街灯(防犯灯)が撤去されたことで暗くなってしまった場所がある→防犯灯についての内容を追加。
- ・ 取り組み内容を「①地域の防犯対策に取り組みます(防犯灯の設置)」に変更する。

② 交流ができる場所をつくります。(まちあいカフェ)

- ・ 既存の施設を利用したカフェを。

- ・美瑛町に町民が集える場所がある。(駅近く?)将棋盤などが置いてあり、自由に交流できる。
- ・公民館でカフェサロン事業をやっていた→3年間、補助金で対応していた。子供達も集まって将棋などをやっていた。

・文言を整理する。「④【重点】複合施設の整備に合わせて、交流機能・診療機能の充実を図ります」が、同じような内容なので統合する。取り組み内容を「②【重点】交流ができる場所(まちあいカフェ)の充実を図ります」修正する。

③公共交通機関の利便性向上を図ります

・(スクールバスについて)バスが運行している経路上であれば、自由に乗り降りできる。知らない人もいると思うので、広く周知していく。バスの運行表に「手を挙げると自由に乗れる」ということを記載すると良いのではないかな。

・文言を修正する。利便性は良くなっているので、周知する方に力を入れていく。取り組み内容を「③公共交通機関の利便性の周知について取り組みます」に修正する。

④複合施設の整備に合わせて、交流機能・診療機能の充実を図ります

・交流スペースについて、役場内にあると行きにくいと思うので、利用しやすい環境にして欲しい。

・元々あった施設が、複合施設に統合されることによって、空き地などがでてくるが、そういった土地などを有効活用できないか。

・複合施設の建設によってできた空き物件や空き地となった場所の活用について考えていくとよいのではないかな。取り組み内容を「④複合施設の整備に伴い生じた、空き物件・空き地の活用について取り組みます」に変更する。

・取り組みのあり方を「行政」から「協働」に変更する。

取り組み内容を⑤としてを追加する。

⑤地域での見守り、支えていくための意識の醸成を図ります

・高齢者が増えてきているので、町内会の役員不足や町内会を脱退する方が増えているため、「地域での見守りや支えていくための意識の醸成とか町内会組織の活性化、介護予防のためのサークル設置」などをどこかの項目に設置したほうが良いと思う。

・目標4に新たな項目を立てたほうが良い。

・取り組みのあり方を「協働」にする。

■目標5 地域活動が盛んな地区をつくる

(1)地域活動の活性化

①あいさつ運動に取り組みます

・中学生等はあいさつをしても、する子・しない子がいる。直接、中学校と協議する場が必要。

・あいさつ運動を防災無線でPRする。あいさつ運動を町の防災無線で、コンピューターではなく人の声で伝えた方がよい。

・取り組みのあり方を「行政」から「協働」に変更する。

②地域行事への参加の促進、および伝統行事を守り育てます

・町内、行政区対抗の行事があってもよい。

・コロナの関係で中止する行事が多いが、コロナが落ち着いたらまた、みんなで参加できるようになったらいい。

・eスポーツなど、子供からお年寄りまで気軽に参加できる「新しい」行事があったら良い。地域の中で新しい交流が生まれるのではないかな。

・取り組みのあり方を「行政」から「協働」に変更する。

③地区団体の横の連携強化に取り組みます。

・何か問題が起きた時に集まってすぐに対応できるようにするため、このまま残しておく。

④地区の行事への公民館の係わりを強化します

・すでに行っているので削除してよい。

★その他

- ・ 防災無線について～東神楽アカウトのようなもので無線原稿を掲載して欲しい。
- ・ ホームページについて～見やすく、使いやすくして欲しい。
- ・ いろいろやっているが、単発で終わっているように感じられる。繋がって、持続させたい。連鎖させられるといいと思う。
- ・ 地区別計画の見える化を。時間が空いたら忘れてしまう。忘れてしまわないように、計画そのもののPRをすると良い。目標を目標で終わらせず、気にかけて活動していけると良い。
- ・ 役場職員と町民が協働で取り組むには・・・町民側からすると、役場職員にお願いをする立場にあるので、少し壁がある。年度始めなど、職員の顔と名前（趣味・特技）などが書いてあるもの（広報など）を公開して欲しい→同じ趣味があると、それを話題に話しやすい環境を作ることができる。

※他にもたくさんの貴重なご意見をいただきましたが、一部割愛させていただきます。